

(別紙8)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月7日

【評価実施概要】

事業所番号	0171401797		
法人名	医療法人社団 向仁会		
事業所名	グループホーム よろこびの家 住慶		
所在地	北海道函館市谷地頭町3番8号 (電話) 0138-24-0808		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年2月7日	評価確定日	平成20年2月14日

【情報提供票より】(平成20年1月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月24日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤15人, 非常勤	人, 常勤換算13.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造モルタル2階 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	43,000円	その他の経費(月額)	20,000~30,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無		有 / 無	
食材料費	朝食	350円	昼食	400円
	夕食	400円	おやつ	180円
	または1日当たり 1,330円			

(4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	18名	男性	8名	女性	10名
要介護1	7名	要介護2	3名		
要介護3	5名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2			
年齢	平均 84歳	最低	69歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	函館ベイサイド病院・函館中央病院・さこ歯科クリニック 函館協会病院・藤岡眼科病院・ジョイウェルス桔梗
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

西部地区の函館山の麓の小高い場所に位置し、近効に立待岬や谷地頭温泉があり、夏には港まつりや湯の川温泉の花火や海岸が見渡せる風光明媚な場所にあるグループホームです。母体医療法人が隣接しており、医療面でも安心できる協力体制になっています。高齢者が比較的多い地区という事もあり、地域での介護や認知症の相談等も受るなど地域で信頼されており、地域の文化祭の参加や囲碁教室などにも出向き交流を行っています。また、七夕まつりなどの行事での子供たちの訪問や託児所の子供たちとの交流も行っていきます。また、開設から職員の離職や異動もほとんど無く利用者や家族に安心感を与えています。管理者、職員は「会話と笑い」を大事にして一人ひとりを尊重し、その人のペースで過ごせるように日々、取り組んでいます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回外部評価では、救急救命講習の実施について課題があげられていましたが、年2回の火災避難訓練の実施や母体医療法人が実施する救急救命講習も実施され改善されています。
重点項目	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、自己評価は全ての職員が参加して実施しています。評価結果の改善点については、全体会議で話し合い明確化し改善に向けて取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在8回実施されています。主な主題については ホームの理念について 防災体制の説明 利用者の状況と日常生活の説明 キャラバンメイトについて 身体拘束について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関に意見箱の設置し、苦情受付担当者も明示されています。家族が来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに努め、気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させています。又、季節ごとに発行している「よろこび新聞」で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、スタッフの紹介、運営推進会議の内容などそれぞれの家族に報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域のふれあいを大切に、ホームの広報誌「よろこび新聞」を町内会に配布してホーム主催行事の案内や日常生活の様子等の広報活動を行っています。又、町会の文化祭の参加や運営推進会議への町内会長や住民の参加、七夕祭りなどでの地域の子供たちの訪問、託児所からの子供たちの訪問、近隣住民の介護相談などで連携・交流が図られています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者に対するケアへの希望や思いを理念に反映させるように職員全員からアンケートを取り、「会話と思い」を大事にし「その人らしさ」を尊重し「個人の自由」を大切にする事を理念として職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、朝礼時に唱和や確認することで理念を共有し、ホーム内の目に付く所に理念の掲示し、理念に沿ったケアの実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のふれあいを大切にし、ホームの広報誌「よろこび新聞」を町内会に配布し、行事の案内や日常生活の様子等の広報活動を行っている。又、町内会の文化祭の参加や運営推進会議への町内会長や住民の参加、七夕まつりなどでの地域の子供たちの訪問、託児所からの子供たちの訪問、近効の住民の介護相談などで交流が図られている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、自己評価は全ての職員が参加して実施している。評価結果の改善点については、全体会議で話し合い明確化し改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在8回開催されている。メンバーは利用者家族、地域の住民代表、包括支援センター職員、保健所の職員、民生委員、及び管理者・職員で構成され、ホームの理念について、防災体制の説明、利用者の状況と日常生活の説明等を議題として取り組んでいる。</p>		<p>運営推進会議が各委員の協力のもと、ケアサービスの質の向上に取り組まれ函館市に議事録の報告もされています。今後は、利用者の日常の生活の様子やホームの取り組みについて委員に実際に体験して意見を戴く機会を作るなど計画されています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は市と運営推進会議以外にも、定期的にサービス担当者会議の開催や運営推進会議の議事録を函館市に提出して、助言を求めするなどサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせて報告をしている</p>	<p>家族の訪問時に近況や金銭の収支の報告はもとより、毎月の請求書送付の際に、金銭の収支の明細を送付している。又、季節ごとに発行している「よろこび新聞」で利用者の日常の暮らしぶりや健康状態、スタッフの紹介、運営推進会議の内容などそれぞれの家族に報告している。又、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に手作りの意見箱の設置し、苦情受付担当者も明示されている。来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに努め、気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の定着率は安定しており、離職はほとんど無く職員間の人間関係も良好で利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、管理者や職員の外部研修参加や資格取得の勉強会を積極的に奨励し勤務内で参加できるように配慮している。また、毎月の全体会議での研修や年間の研修計画を立案し、研修担当を設け職員からの希望や必要な研修が受けられるような取り組みが図られている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>函館市やグループホーム協議会主催の勉強会や研修会参加などで交流する機会を設けており、サービスの質を向上させていく取り組みが行われている。</p>		<p>今後は、管理者以外の職員も他グループホーム職員との相互訪問等が気軽にできるように話し合いが行われている。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、事前に家族から生活歴や習慣の情報を把握し、入居前には、利用者・家族の見学やパンフレットの案内などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員も利用者と一緒に調理をしたり、後片づけをしたり、編み物、折り紙、将棋、囲碁、など趣味や会合でのスピーチする場面づくりなど過去の習慣や特技を大事にし、利用者に教えてもらいながら信頼関係を深めるように努め喜怒哀楽を共有して支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの生活習慣や希望を踏まえ、スーパーへの買い物や町内の散歩、通院の支援、立待岬や金森倉庫等の観光地へのドライブなど積極的に外出の機会を多く持ち、将棋、囲碁、折り紙、縫物等の趣味への支援や食事の準備、食の嗜好の把握など本人を尊重した取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、定期的なカンファレンスや記録を基に本人、家族、必要な関係者と話し合い、課題を明確化し、本人本位の生活できるように具体的な介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	三か月に一度介護計画の見直しを実施し、状態の変化や必要に応じてその都度、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や町内の散歩やスーパーへの買い物など柔軟に支援を行っている。又、近効の観光地や理美容院への訪問など時々々の要望にも対応されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	母体医療法人から毎週、看護師が健康管理の為の訪問があり、利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針が明確化され、利用者・家族とも繰り返し相談しながら職員全員で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、最善の注意を払い取り扱っており、利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーについても理念に基づき、一人ひとりを尊重した言葉かけや対応を心掛けている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活習慣や思いを尊重してスーパーでの買い物や散歩、食事の準備、掃除の手伝いなどの役割事や食事や入浴なども本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者本人の希望や状態に応じて一緒に調理や食事の準備や後片付けをしている。又、献立の担当者は一人ひとりの希望や嗜好を取り入れ作成し、食事が楽しみ事になるように支援している。		栄養バランスや摂取カロリーは把握され、食事が楽しみなものなるように支援されている。今後は、運営推進会議で保健師の助言を得ながらホームの取り組みを各委員に伝える研修の開催も検討されています。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めずに、週2～3回を目安に利用者の希望に応じて時間帯や回数などの制限は無く入浴できるように支援している。又、ゆっくりと入浴が楽しめるように一人ひとりのペースに合わせた支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴を踏まえ、一緒に調理や食後の後片づけ、観葉植物の水やり、畑仕事など一人ひとりの状態を見極めた役割事や日々を楽しく過ごせるように将棋や囲碁、編み物、折り紙などの趣味への支援や散歩や買い物、近郊の観光地へのドライブなどの気晴らしの支援も行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望に沿って、日常的にスーパーへの買い物、町内の散歩、近くの谷地頭温泉の入浴、行事として隣町のしんわの湯への温泉ツアーや五稜郭公園ツアー、四季の杜公園での食事会など気分転換ができるように外出の支援がされている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、夜間の防犯を目的とした施錠以外は鍵をかけないように取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように消防署の協力の基に火災避難訓練が年2回実施されている。又、母体法人が主催する救急救命の講習も実施されています。		防災訓練後、職員全員で反省点や課題を出し合い、次回の訓練に活かせるような取り組みがなされている。今後は、ホームの取り組みについて運営推進会議の委員の助言を得たり、近隣の住民も参加して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な食事摂取量・水分摂取量が記録され、申し送り等で職員全員に把握されている。又、一人ひとりに合わせた嗜好や量を調整しており、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内の居間、廊下、居室は広く、高級感のあるテーブルが配置され、季節ごとにディスプレイがされ、畳のある和室で囲碁や将棋、職員や利用者同士が談話できる空間になっています。ベランダには芝生のスペースがあり、バーベキューや日光浴など楽しめるような場所になっていて、畑にはとうもろこし、エンドウ豆、ミニトマト等を栽培し、収穫時期を全員が楽しみにしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は広く、家族が泊まれるスペースが確保されています。又、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。